AutoHotKey

キー操作をカスタマイズするWindows用ソフト□Windows10でも動作したので備忘録を残す。

WinFM2008のカーソル移動のキー操作をEmacsライクにするのに導入。
尚、CtrlとCapsキーの入れ替えはRemapkeyを使って行っている。

インストール

下記URLよりインストーラを入手し実行。

<https://www.autohotkey.com/download/>

Scriptファイルの作成

デスクトップなど（任意のフォルダでOK□で右クリックし、「新規作成□X□□→□AutoHotKey Script□をクリックするとテキストファイルが立ち上がる。これに適当な名前を付け、拡張子を「.ahk　」にしてデスクトップに保存。

下記のように入力。

emacs.ahk

```
^h::send, {BS}
^p::send, {Up}
^n::send, {Down}
^f::send, {Right}
^b::send, {Left}
^m::send, {Enter}
```

Scriptの実行

作成したテキストファイルをダブルクリックすると実行できる□WinFM2008ソフトを立ち上げて□Emacsカーソルが実現されたか確認する。

適用ソフトの限定

上記の設定だと全てのソフトで有効になるので□WinFM2008のみに適用するようにScriptファイルを修正。

custum.ahk

```
#IfWinActive ahk_exe WinFMx64.exe
^h::send, {BS}
^p::send, {Up}
^n::send, {Down}
^f::send, {Right}
^b::send, {Left}
^m::send, {Enter}
#IfWinActive
```

Window毎にキー設定を変えるには

下記のように、#IfWinActive を使う

```
#IfWinActive ahk_class Notepad
...
```

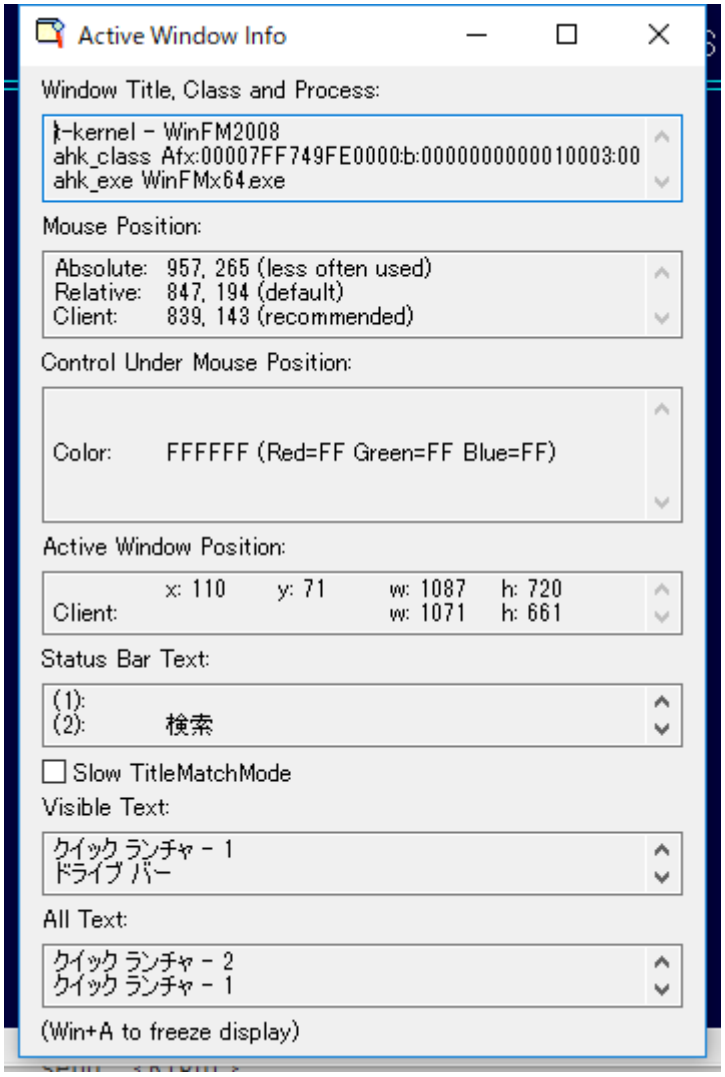
指定を解除するには

```
#IfWinActive
```

又、指定のウィンドウ以外で有効にしたい場合は、下記のように、#IfWinNotActive を使う。Emacs と操作を揃えたい場合は、こちらの指定の方が便利。

```
#IfWinNotActive ahk_class Emacs
...
```

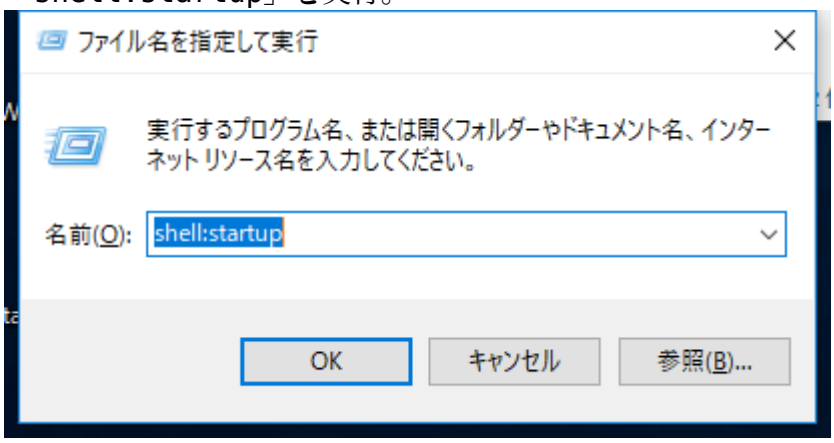
指定出来るクラス名などの情報を調べるには AutoHotkeyのタスクトレイアイコンを右クリックし「Window spy」を使って調べる。



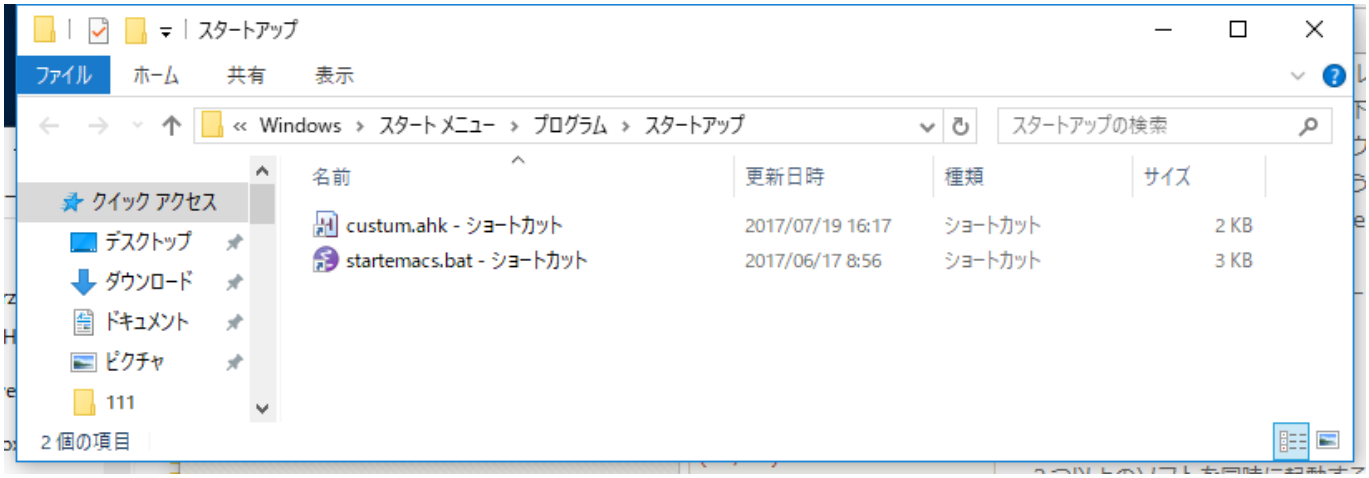
Scriptの自動起動

□□を起動したとき自動スタートするには「スタートアップ」に、このScriptファイルのショートカットを登録する。

1. 作成したScriptファイルを右クリックし、[送る] > [デスクトップ(ショートカットを作成)] しショートカットを作成。 2. スタートメニューを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] 下記を実行し、「`shell:startup`」を実行。



3. スタートアップが開くので、作成したショートカットをドロップしてコピー。



補足

- AutoHotKeyを使えば，ソフトにかかわらずキーアサインを自在に変更できる。なので□Word/ExcelでもWebブラウザでもEmacsライク　なカーソル移動ができて快適。ただ、元々定義されていたキー機能は動かなくなるので注意する必要がある。

所感

今回□WinFM2008のキー操作をカスタマイズしたくて使ったが、素晴らしい！！ ヘルプをみると色んな応用ができそう。今後活用していきたい。素晴らしいソフトを提供して下さっている作者に感謝。

関連記事

- WinFM2008
- Remapkey

参考

---

1. #IfWinActive / #IfWinExist 2. AutoHotKeyでダイヤモンドカーソル化 3. AutoHotkeyの使い方1 4. AutoHotkeyの使い方2 5. Windows 10用に追加したAutoHotkeyの設定 6. □□□□□□□□□□□ショートカットやキーアサインを作る） 7. AutoHotKey 公式サイト

From:
https://yokoweb.net/dokuwiki/ - **新石器Wiki**

Permanent link:
https://yokoweb.net/dokuwiki/software/windows/autohotkey?rev=1598923318

Last update: **2020/09/01 10:21**